

6次化による起業・事業拡大、売れる商品づくりを目指す人を応援します。

平成
29年度

ふくしま 6次化創業塾



会場

福島県農業総合センター ほか 郡山市日和田町高倉字下中道116番地

応募締切

平成29年9月12日(火) 16:00応募締切【先着順】

※交通費、飲食代等は自己負担をお願いしております。

受講料
無料

目的で選べる **3**つのコース

1

6次化基礎コース

定員30名

これから6次化を始めたい、一緒に取り組む仲間作りをしたいと考えている方などを対象としています。6次化に関する基本的な知識を習得するための講座と、グループに分かれて地域での魅力的な資源の発見や活用などを話し合う時間も設けられています。6次化商品が販売されている場所の視察や6次化商品の試食も行います。



2

6次化実践コース

定員15名

実際に起業して6次化を始めたい、現在の事業をもっとブラッシュアップしたいと考えている方などを対象としています。売れる商品づくりやビジネスモデルについて実践している企業経営者による講義も予定しています。

先進的な取り組みをしている施設への視察や6次化商品の試食も行います。国家戦略プロフェッショナル検定「食の6次産業化プロデューサー」の事業主・法人コースのレベル3取得が可能なプログラムとなっています。

食PRO.
LEVEL3 (2017)

3

6次化支援スタッフコース (経営マネジメント)

定員15名

農家や事業者に対して6次化に関する指導やニーズマッチング、支援等を行うことのできる「支援スタッフ」を育成します。本コースの対象は自治体、JA、商工関連団体や経営コンサルタントの方などです。国家戦略プロフェッショナル検定「食の6次産業化プロデューサー」の支援スタッフコースのレベル3取得が可能なプログラムとなっています。



食PRO. 食Pro.とは? 食プロ

食の6次産業化を担う人材の認定・育成を目的としています。生産(1次産業)、加工(2次産業)、流通・販売・サービス(3次産業)の一体化や連携により、地域の農林水産物を活用した加工品の開発、消費者への直接販売、レストランの展開など、食分野で新たなビジネスを創出するための職能レベルを認定します。

主催/福島県・ふくしま地域産業6次化推進協議会
協力/福島大学地域創造支援センター

コース内容

① 6次化基礎コース

これから6次化を始めたい、一緒に取り組む仲間作りをしたいと考えている方などを対象としています。商品開発の基本知識や食品衛生管理など6次化に関する基本的な知識を身につけることができます。

② 6次化実践コース

実際に起業して6次化を始めたい、現在の事業をもっとブラッシュアップしたいと考えている方などを対象としています。食の6次産業化プロデューサーの事業主・法人コースのレベル3の取得を目指します。

③ 6次化支援スタッフコース(経営マネジメント)

農家や事業者に対して6次化に関する指導やニーズマッチング、支援等を行うために必要な6次化関連の知識・手法を身につけたいと考えている方などを対象としています。食の6次産業化プロデューサーの支援スタッフコースのレベル3の取得を目指します。

その他の条件 【各コース共通】

- 18歳以上の福島県民又は、福島県内企業に勤務もしくは県内で自営する社会人であること。
- 電子メールでの書類の連絡があるため、E-mailアドレス(携帯不可)を有していること。
- 原則として、全日程の受講が可能であること。
- 本事業への参加について、雇用主等の理解が得られていること。

研修の3つの特徴



6次産業化の実践者や専門家が実際の体験や全国の実例を基にわかりやすく指導します。



講座は講義・グループワーク形式で実施。受講生同士のつながりが生まれやすくなります。



6次化商品の開発体験や先進事例の視察など、より実践的に6次化を学べます。

昨年度の本講座に参加した受講生の声



鈴木陽子さん
(鈴木農園)
基礎コース受講

6次化創業塾では食中毒の危険性など安全に関する知識はもちろん、加工実習もあり、多くを学ぶことができました。知識と人脈を今後の商品開発に活かしてしていきたいです。

ぶどうの加工品をテスト販売しました。



近久寿幸さん
(株)ベジフルプランニング
実践コース受講

6次化創業塾において6次化の基礎的な考えや展望を学んだことにより、ものづくりに強く興味を持ち、より柔軟な考えで商品開発に取り組むようになりました。

国見町産もも果汁入り入浴剤「もも湯の日」を開発しました!

国見町産の桃の果汁を粉末にして配合した入浴剤「もも湯の日」



菅野賢一さん
(株)福島銀行
支援スタッフコース受講

6次化創業塾を通じて農産物や農産物加工品への知識が深まり、また、受講生や講師との人脈も増えました。そのおかげで地元の農家や農業生産法人への支援の幅が広がりました。例えば、訪問時にお客様の問題発見や問題解決が早まったり、パイヤーとの交渉もよりスムーズに進められたりと、受講の成果を実感しています。

お客様の6次化商品のブラッシュアップを支援しています。



塩田明美さん
(Akechanファーム・ラボ)
基礎コース受講

講座に参加して具体的に自分を客観的に観察し、衛生面の事や資金の事等を学ぶことにより、未来を具体的に進めていくことができ、一歩踏み出すことの大切さを実感しました。

農業生産者たちのお店「Akechanファーム・ラボ」で接客もしています。



募集要項

応募の流れ

応募用紙に
必要事項を記載

応募締切
9月12日(火)
16:00までに
応募

受講者決定通知
(E-mailにて)
9月20日(水)

入塾式
10月6日(金)

応募方法と応募条件

本パンフレットまたは「ふくしま6次化創業塾」Webサイト (<http://www.6jika.com/school>) からダウンロードした「平成29年度 ふくしま6次化創業塾 塾生応募用紙」に必要事項を記載の上、平成29年9月12日(火)16:00までに、下記のFAX、E-mailまたは郵送にてお申し込みください。なお、お申し込み後に書類審査や電話ヒアリングをさせていただく場合もございます。

【応募先】 FAX:024-572-4911 **【応募締切】 平成29年9月12日(火)16:00必着(先着順)**
E-mail:6jika@life-role.jp ※各講座とも申込先着順で定員になり次第、締め切らせていただきます。

【応募条件(各コース共通)】・18歳以上の福島県民又は、福島県内企業に勤務もしくは県内で自営する社会人であること。
 ・電子メールでの書類の連絡があるため、E-mailアドレス(携帯不可)を有していること。
 ・原則として、全日程の受講が可能であること。
 ・本事業への参加について、雇用主等の理解が得られていること。

平成29年度 ふくしま6次化創業塾 塾生応募用紙

※希望するコースにチェックを入れ、下記項目すべてご記入ください。

6次化基礎コース 6次化実践コース 6次化支援スタッフコース(経営マネジメント)

申込日	年 月 日	現住所	〒
ふりがな			
氏名			
生年月日	年 月 日(歳)	電話番号	
性別	男性 ・ 女性	携帯番号	
職業		E-mail (携帯不可)	
会社名・所属組織名	(部署・役職:)		
講座では具体的に何を学びたいか?			
現在取り組んでいる6次化商品は何か? または今後どのような6次化商品開発に取り組みたいか?			
現在抱えている6次化に関する課題は何か?			
講座終了後の目標は何か?			

※本応募用紙に記載された内容は、個人情報として厳密に管理するとともに、本塾運営に係る業務以外に使用することは一切ございません。
 ※本応募用紙は「ふくしま6次化創業塾」Webサイト (<http://www.6jika.com/school>) からダウンロードできます。

ふくしま6次化創業塾 事務局 〒960-8057 福島県福島市笹木野字北中谷地45番13号 TEL:024-563-6230 FAX:024-572-4911
 E-mail:6jika@life-role.jp 受付時間:10:00から16:00まで(土・日・祝日を除く) 担当:阿部・大橋

平成29年度福島特定原子力施設地域振興交付金事業

6次化基礎コース

定員30名

これから6次化を始めたい、一緒に取り組む仲間作りをしたいと考えている方などのためのコースです。商品開発の基本知識や食品衛生管理など6次化に関する基本的な知識を身につけることができます。

特別に会場名が記載されている場合以外は農業総合センターが会場です。

	テーマ	研修内容	講師
第1回 10月6日 (金)	11:00~11:20 入塾式 【会場】杉妻会館	入塾式、オリエンテーションを行います。	福島県農産物流通課
	11:40~12:10 新 ぶくしま地域産業6次化戦略 ~政策と制度~ 【会場】杉妻会館	福島県における地域産業の6次化の推進体制、施策について説明します。	福島県農産物流通課
	公開講座 13:15~14:45 【会場】杉妻会館	[演題] 6次化による元気な地域づくり ~経営視点を大切に~	(公財)流通経済研究所 主任研究員 折笠俊輔氏
第2回 10月24日 (火)	10:20~12:00 6次化で地域を元気に	地域を元気にしようと、6次化に関連する事業を実践している人たちの思いと経験談を聴きます。	6次化関連事業者 ・まるせい果樹園 佐藤ゆきえ氏 ・金子牧場 代表 金子政彦氏
	13:00~14:30 グループワーク① 福島県の魅力的な資源を活用しよう	グループワークは問題意識を共有することと仲間づくりに最適です。第1回目は福島県の魅力的な資源を発見し、活かす道を含んで探ります。	・福島大学地域創造支援センター 客員教授 西川和明氏 ・(一社)地域活性プロジェクト 阿部尚俊氏
	14:40~16:10 塾生交流会	6次化基礎コースの塾生同士、それぞれどのような取り組みを目指そうとしているのかなどの情報交換をすることで、将来の連携の機会づくりを行います。	(一社)地域活性プロジェクト 阿部尚俊氏
第3回 10月30日 (月)	10:00~12:00 製品開発マーケティングおよびビジネスモデルの研究 ~福島路ビールのフルーツビール~ ~コンセプト・ヴィレッジの野菜の配送システム~	6次化での起業において、重要なカギとなっている製品開発マーケティングとビジネスモデルについて学習します。	・福島大学地域創造支援センター 客員教授 西川和明氏 ・(有)福島路ビール 社長 吉田重男氏 ・(株)コンセプト・ヴィレッジ 社長 馬場大治氏
	13:00~14:30 商品開発の原価計算と流通の仕組み	事業を継続的に行うには、次の事業展開に必要な資金と従事者が報酬を得るための利益確保が重要です。そのための方策を学習します。	中小企業診断士 藤本 誠氏
	14:40~16:40 グループワーク② 事業化について考える	本日の授業で学んだことを活かしながら、第1回目のグループワークで出てきたアイデアを実際に事業化するにはどうしたらよいかを、グループで考えていきます。	(一社)地域活性プロジェクト 阿部尚俊氏
第4回 11月10日 (金)	9:20~10:20 6次産業化関連法規	6次産業化を推進するための公的支援策について理解し、公的支援制度の活用方法について学びます。	福島県農産物流通課
	10:30~12:00 商品開発について	消費者が選ぶ商品とは何か、販売現場からの視点で説明します。	(株)C.H.リテイリング 高谷裕昭氏
	13:00~14:30 パッケージデザイン	消費者視点での商品開発のコンセプト設定をはじめ、ネーミングやパッケージデザインのポイントについて学びます。	ヘルベチカデザイン(株) 代表取締役 佐藤哲也氏
	14:40~16:10 グループワーク③ 事業案の具体化	グループワークの最終回として、本日の授業で学んだことを活かしながら、実際に事業をやるつもりでDM用あるいは新聞折り込み用チラシまたはポスターを作成します。	(一社)地域活性プロジェクト 阿部尚俊氏
第5回 11月15日 (水)	10:00~12:00 販売の現地視察 【会場】JA農産物直売所「愛情館」	実際にどのような6次化商品が販売されているのかを農産物直売所で視察します。 また、愛情館職員より、どのような商品が売れ行きがいいのかをアドバイスいただきます。	(一社)地域活性プロジェクト 高宮文作氏
	13:00~14:30 グループ意見交換 【会場】JA農産物直売所「愛情館」	午前中の講義を受けて、売れる6次化商品について意見交換を行います。	(一社)地域活性プロジェクト 高宮文作氏
第6回 11月28日 (火)	10:30~12:00 食品衛生管理及び食品加工をめぐる法制度 【会場】農業短期大学校	食品衛生・食品表示など食品の安全な製造と販売に必要な法令等について学びます。	福島県保健福祉事務所
	13:00~16:30 加工技術演習 【会場】農業短期大学校	実際に加工を体験し、加工技術を習得するための基本的事項を学びます。	農業短期大学校研修部 専門員 安田幸子氏
第7回 12月5日 (火)	10:00~12:00 商品開発実践事例 ・果物の加工品 ・雪下野菜のロールキャベツ	福島県の資源を活用して商品開発を行った事例について、実際に開発に携わった経営者からお話をいただきます。	・(株)菱沼農園 社長 菱沼健一氏 ・(有)河内屋商店 社長 山内拓也氏
	6次化商品の試食(昼食時) ・ゼリー もも蜜 りんご蜜 ・雪下野菜のロールキャベツ		
	13:00~14:30 法人化のメリットと手続き	法人にもさまざまな形態があり、それぞれにメリットが異なります。自分が考えている事業に適しているのはどれであるのかを検討するために、設立手続きを含めて解説を行います。	(一社)地域活性プロジェクト 金沢和則氏
第8回 12月14日 (木)	10:00~12:00 事業計画作成について	これまでの授業で学んだ知識を基に、最終回で発表する商品開発プランを作るための基礎的な手法を学びます。	福島大学地域創造支援センター 客員教授 西川和明氏
	13:00~15:00 プレゼンテーションについて	最終回での商品開発プランの発表に向けて、プレゼンテーション方法について学習します。	(一社)地域活性プロジェクト 阿部尚俊氏
第9回 1月16日 (火)	9:30~17:00 ※1 商品開発プランの発表および塾生交流会	研修を受けた総括として、各自で作成した新商品/サービスの開発プランを発表し、審査員の講評を受けます。	福島県及び審査員
2月上旬	卒塾式 【会場】福島市内ホテル	3コース合同で修了証書の授与とOB・OGを交えての交流会を行います。	福島県農産物流通課

【卒塾式について】日程は最後の講義の際に発表いたします。当日は、卒塾証書の授与のほか、各コースで学び、試作した新商品や、OB・OG達が市場で評価を得ている新商品などを持ち寄り、相互に評価し合うとともに、記念講演講師の評価も得て更なる商品改良を目指します。

6次化実践コース

定員15名



実際に起業して6次化を始めたい、現在の事業をもっとブラッシュアップしたいと考えている方などのためのコースです。国家戦略プロフェッショナル検定「食の6次産業化プロデューサー」の事業主・法人コースのレベル3の取得を目指します。

特別に会場名が記載されている場合以外は農業総合センターが会場です。

	テーマ	研修内容	講師
第1回 10月6日 (金)	11:00～11:20 入塾式 【会場】杉妻会館	入塾式、オリエンテーションを行います。	福島県農産物流通課
	11:40～12:10 新ふくしま地域産業6次化戦略 ～政策と制度～ 【会場】杉妻会館	福島県における地域産業の6次化の推進体制、施策について説明します。	福島県農産物流通課
	公開講座 13:15～14:45 【会場】杉妻会館	【演題】 6次化による元気な地域づくり ～経営視点を大切に～	(公財)流通経済研究所 主任研究員 折笠俊輔氏
第2回 10月24日 (火)	9:50～10:20 「食の6次産業化プロデューサー」認定について	「食の6次産業化プロデューサー」認定のための申請方法について説明します。	(一社)地域活性プロジェクト 阿部尚俊氏
	10:30～12:00 福島県を含む全国の先進的な6次化事例	6次化の成功事例には共通する成功要因が、また、失敗事例にも同様に共通する失敗要因が存在します。それらを学ぶことで、継続発展する6次化事業をどのように計画するかについて学習します。	福島大学地域創造支援センター 客員教授 西川和明氏
	13:00～14:00 農業に関する政策をめぐる最近の動き ～GAPを中心に～	あらゆる面でグローバル化が進展しています。特に2020年のオリンピックに向けて農業に関する「国際標準」がクローズアップされてきました。こうした動きについて解説します。	福島県環境保全農業課
	14:10～15:10 食品衛生管理及び食品加工をめぐる法制度	食品衛生・食品表示など食品の安全な製造と販売に必要な法令等について学びます。	福島県保健福祉事務所
	15:20～16:20 食品加工について	食品の加工や保存方法等について学びます。	農業総合センター 生産環境部流通加工科 主任研究員 國分計恵子氏
第3回 10月30日 (月)	10:00～12:00 製品開発マーケティングおよびビジネスモデルの研究 ～福島路ビールのフルーツビール～ ～コンセプト・ヴィレッジの野菜の配送システム～	6次化での起業において、重要なカギとなっている製品開発マーケティングとビジネスモデルについて学習します。	・福島大学地域創造支援センター 客員教授 西川和明氏 ・(有)福島路ビール 社長 吉田重男氏 ・(株)コンセプト・ヴィレッジ 社長 馬場大治氏
	13:00～16:00 事業計画立案のプロセス	前の時間に学習したマーケティングとビジネスモデルを実際の事業として計画立案するためのプロセスを学習します。	福島大学地域創造支援センター 客員教授 西川和明氏
第4回 11月10日 (金)	9:20～10:20 6次産業化関連法規	6次産業化を推進するための公的支援策について理解し、公的支援制度の活用方法について学びます。	福島県農産物流通課
	10:30～12:00 商品開発について	消費者が選ぶ商品とは何か、販売現場からの視点で説明します。	(株)C.H.リテイリング 高谷裕昭氏
	13:00～14:30 会計制度 ～財務諸表について～	会計制度の基本である損益計算書と貸借対照表について学習します。	税理士 板倉雄一郎氏
第5回 11月21日 (火)	終日 先進事例視察 ～加工場から店頭へ～ ・栃木県西方町農産物加工組合おとめ会 ・栃木県道の駅にしかた ・栃木県道の駅うつのみや ろまんちっく村 ※バス移動。集合場所・時間等詳細なスケジュールについては追って連絡します。	おとめ会は平成15年に女性21人で結成された起業型農産加工グループです。 道の駅にしかたでは売り場を視察します。 ろまんちっく村は体験型観光も行っており、現在最も注目されている企業経営による産直施設です。	福島大学地域創造支援センター 客員教授 西川和明氏
第6回 12月5日 (火)	10:00～12:00 事業計画の作り方(午前開催分120分)	事業計画は、①自分の目的と実施プロセスを明確にして事業を成功させるために、②客観的に事業の有効性を説明して資金面などで協力者を得るために、必要とされているものです。事業計画をどのように立案していくかについて学びます。	福島大学地域創造支援センター 客員教授 西川和明氏
	13:00～17:00 事業計画の作り方(午後開催分240分)	事業計画は、①自分の目的と実施プロセスを明確にして事業を成功させるために、②客観的に事業の有効性を説明して資金面などで協力者を得るために、必要とされているものです。事業計画をどのように立案していくかについて学びます。	福島大学地域創造支援センター 客員教授 西川和明氏
第7回 12月14日 (木)	9:30～10:20 「食の6次産業化プロデューサー」認定対策講義	「食の6次産業化プロデューサー」認定のための申請書の書き方について教則本により解説します。	(一社)地域活性プロジェクト 阿部尚俊氏
	10:30～12:00 農業の果たす役割 ～未来へ向けての環境保護と人材育成～	農業は単に食糧生産をするのみならず、地域の環境保全や“人づくり”にも重要な役割を果たしています。それを実践している農業者による講義です。	大野村農園 菊地将兵氏
第8回 1月12日 (金)	9:30～17:00 ※1 商品開発プランの発表および塾生交流会	研修を受けた総括として、各自で作成した新商品/サービスの開発プランを発表し、審査員の講評を受けます。	福島県及び審査員
2月上旬	卒塾式 【会場】福島市内ホテル	3コース合同で修了証書の授与とOB・OGを交えての交流会を行います。	福島県農産物流通課

すべてのコースにおいて、日程、講義内容、講師については、変更となる場合があります。また、飲食代等は自己負担をお願いします。 ※1 発表の実施時間は参加する塾生数により変更となる可能性があります。

6次化支援スタッフコース(経営マネジメント)

定員15名



農家や事業者に対して6次化に関する指導やニーズマッチング、支援等を行うために必要な6次化関連の知識・手法を身につけたいと考えている方などのためのコースです。国家戦略プロフェッショナル検定「食の6次産業化プロデューサー」の支援スタッフコースのレベル3の取得を目指します。特別に会場名が記載されている場合以外は農業総合センターが会場です。

	テーマ	研修内容	講師
第1回 10月6日 (金)	11:00~11:20 入塾式 【会場】杉妻会館	入塾式、オリエンテーションを行います。	福島県農産物流通課
	11:40~12:10 新 ぶくしま地域産業6次化戦略 ~政策と制度~ 【会場】杉妻会館	福島県における地域産業の6次化の推進体制、施策について説明します。	福島県農産物流通課
	公開講座 13:15~14:45 【会場】杉妻会館	[演題] 6次化による元気な地域づくり ~経営視点を大切に~	(公財)流通経済研究所 主任研究員 折笠俊輔氏
第2回 10月24日 (火)	9:50~10:20 「食の6次産業化プロデューサー」認定について	「食の6次産業化プロデューサー」認定のための申請方法について説明します。	(一社)地域活性プロジェクト 阿部尚俊氏
	10:30~12:00 福島県を含む全国の先進的な6次化事例	6次化の成功事例には共通する成功要因が、また、失敗事例にも同様に共通する失敗要因が存在します。それらを学ぶことで、継続発展する6次化事業をどのように計画するかについて学習します。	福島大学地域創造支援センター 客員教授 西川和明氏
	13:00~14:00 農業に関する政策をめぐる最近の動き ~GAPを中心に~	あらゆる面でグローバル化が進んでいます。特に2020年のオリンピックに向けて農業に関する「国際標準」がクローズアップされてきました。こうした動きについて解説します。	福島県環境保全農業課
	14:10~15:10 食品衛生管理及び食品加工をめぐる法制度	食品衛生・食品表示など食品の安全な製造と販売に必要な法令等について学びます。	福島県保健福祉事務所
第3回 10月30日 (月)	15:20~16:20 食品加工について	食品の加工や保存方法等について学びます。	農業総合センター 生産環境部流通加工科 主任研究員 國分計恵子氏
	10:00~12:00 製品開発マーケティングおよびビジネスモデルの研究 ~福島路ビールのフルーツビール~ ~コンセプト・ヴィレツジの野菜の配送システム~	6次化での起業において、重要なカギとなっている製品開発マーケティングとビジネスモデルについて学習します。	・福島大学地域創造支援センター 客員教授 西川和明氏 ・(有)福島路ビール 社長 吉田重男氏 ・(株)コンセプト・ヴィレツジ 社長 馬場大治氏
	13:00~16:00 事業計画立案のプロセス	前の時間に学習したマーケティングとビジネスモデルを実際の事業として計画立案するためのプロセスを学習します。	福島大学地域創造支援センター 客員教授 西川和明氏
第4回 11月10日 (金)	9:20~10:20 6次産業化関連法規	6次産業化を推進するための公的支援策について理解し、公的支援制度の活用方法について学びます。	福島県農産物流通課
	10:30~12:00 商品開発について	消費者が選ぶ商品とは何か、販売現場からの視点で説明します。	(株)C.H.リテイリング 高谷裕昭氏
	13:00~14:30 会計制度 ~財務諸表について~	会計制度の基本である損益計算書と貸借対照表について学習します。	税理士 板倉雄一郎氏
	14:40~16:40 財務管理 ~日々の会計処理と税務および金融機関の活用~	資金繰りを悪化させないための日々の財務管理と、金融機関の活用について学習します。	税理士 板倉雄一郎氏
第5回 11月21日 (火)	終日 先進事例視察 ~加工場から店頭へ~ ・栃木県西方町農産物加工組合おとめ会 ・栃木県道の駅にしかた ・栃木県道の駅つのみや ろまんちつく村 ※バス移動。集合場所・時間等詳細なスケジュールについては追って連絡します。	おとめ会は平成15年に女性21人で結成された起業型農産加工グループです。 道の駅にしかたでは売り場を視察します。 ろまんちつく村は体験型観光もっており、現在最も注目されている企業経営による産直施設です。	福島大学地域創造支援センター 客員教授 西川和明氏
第6回 11月28日 (火)	9:50~10:20 加工機器の紹介 【会場】農業短期大学校	農産加工施設等に必要の機器等について説明します。	農業短期大学校研修部 専門員 安田幸子氏
	10:30~12:00 経営分析の方法とその結果の活用法 【会場】農業短期大学校	経営を持続させ発展させるためには経営分析が欠かせません。その方法と活用法を学習します。	中小企業診断士 藤本 誠氏
	13:00~14:30 6次化における連携創出事例① 【会場】農業短期大学校	大学教員が福島県内で支援を行ってきた6次化グループがどのように形成され事業活動を行ってきたかについて、講義を行います。	福島大学経済経営学類 准教授 則藤孝志氏
	14:40~16:10 6次化における連携創出事例② 【会場】農業短期大学校	11年間活動を続け、この間に政府からの表彰も受けているNPO法人の成功要因を探ります。	ゆうきの里東和ふるさとづくり協議会 理事長 武藤一夫氏
第7回 12月5日 (火)	10:00~12:00 事業計画の作り方(午前開催分120分)	事業計画は、①自分の目的と実施プロセスを明確にして事業を成功させるために、②客観的に事業の有効性を説明して資金面などで協力者を得るために、必要とされているものです。事業計画をどのように立案していくかについて学びます。	福島大学地域創造支援センター 客員教授 西川和明氏
	13:00~17:00 事業計画の作り方(午後開催分240分)	6次化商品の試食(昼食時) ・ゼリー もも蜜 りんご蜜 ・雪下野菜のロールキャベツ 事業計画は、①自分の目的と実施プロセスを明確にして事業を成功させるために、②客観的に事業の有効性を説明して資金面などで協力者を得るために、必要とされているものです。事業計画をどのように立案していくかについて学びます。	福島大学地域創造支援センター 客員教授 西川和明氏
第8回 12月14日 (木)	9:30~10:20 「食の6次産業化プロデューサー」認定対策講義	「食の6次産業化プロデューサー」認定のための申請書の書き方について教則本により解説します。	(一社)地域活性プロジェクト 阿部尚俊氏
	10:30~12:00 農業の果たす役割 ~未来へ向けての環境保護と人材育成~	農業は単に食糧生産をするのみならず、地域の環境保全や“人づくり”にも重要な役割を果たしています。それを実践している農業者による講義です。	大野村農園 菊地将兵氏
	13:00~16:00 事業計画作成指導法	補助金や銀行への融資申請を目的とする事業計画作成にあたっての留意点等を学習します。	福島大学地域創造支援センター 客員教授 西川和明氏
第9回 1月12日 (金)	9:30~17:00 ※1 商品開発プランの発表および塾生交流会	研修を受けた総括として、各自で作成した新商品/サービスの開発プランを発表し、審査員の講評を受けます。	福島県及び審査員
2月上旬	卒塾式 【会場】福島市内ホテル	3コース合同で修了証書の授与とOB・OGを交えての交流会を行います。	福島県農産物流通課